

令和5年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる
施策の目標	多様な主体からすみだの魅力が広がり、これまで以上に国内外から多くの人々が「国際文化観光都市すみだ」に繰り返し訪れています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	区内観光客リピーター率									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-									30.0
実績	-		29.0			74.3	83.3			

指標名	墨田区を人に勧めたい割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				-					65.0
実績	52.8	-	56.1	-	58.8	-	70.4	-		-

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
観光需要が回復している中で、多様な主体と連携し、様々な墨田区の魅力を広く発信し、より多くの方に訪れてもらうとともに、繰り返し訪れてもらえる仕組みづくりについても検討が必要である。	R2	19,193
	R3	19,967
	R4	22,895

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	今後は国内外の観光需要回復に合わせた、施策を展開していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
観光需要の回復に合わせて見直しを図り、実施していく必要があるため。	
【今後の具体的な方針】	
観光客の情報取得方法の多様化に合わせた情報発信の工夫、広域連携による誘客、回遊性向上を目指していく。また、MICE誘致についての検討も行う。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	観光情報発信事業	8,237	6,543	14,780	850,000	改善・見直し
					470,000	令和4年度
2	MICE推進事業費	0	0	0	-	改善・見直し
					-	令和4年度
3	外国人観光客受入整備事業	5,299	2,454	7,753	25,000	改善・見直し
					555	令和4年度
4	向島花街の新生事業	8,375	2,454	10,829	3	改善・見直し
					3	令和4年度
5	広域連携事業	984	3,272	4,256	9,900,000	改善・見直し
					3,748,164	令和4年度
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	観光情報発信事業				1	
目的	区内の観光資源・観光素材の情報を効果的に発信・PRすることで、区の観光振興を図る。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	墨田区を訪れる観光客					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人 委託先 一般社団法人墨田区観光協会 等	
事業内容	1 フィルムコミッションの運営 区内で行われるドラマ・CM等の撮影を支援し、マスメディアを活用した観光情報の発信を行う。 2 観光案内冊子の作成 多言語に対応した冊子を作成する。 3 観光プロモーションの実施 (1)マンホールカードの増刷 (2)観光プロモーションの実施					
経過	開始年度	平成22年度		終了予定		
	平成22年度 ロケ支援の試行の実施 平成23年度 フィルムコミッション事業運営開始 令和3年度 公共空間でのロケ支援に加えて民間空間でのロケ支援を開始					
議会質問 の状況	令和3年11月 決算特別委員会 フィルムコミッション事業における墨田区の魅力の発信状況について 令和4年 3月 予算特別委員会 フィルムコミッション事業の利用件数について 令和4年11月 決算特別委員会 フィルムコミッション事業の状況把握とPRについて 令和5年 2月 予算特別委員会 フィルムコミッション事業の取り組み状況・PRについて					
その他 特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		21,345	20,556	14,716	9,214	8,237	17,399
A.決算額(令和5年度は見込み)		21,050	18,655	12,506	9,214	8,237	17,399
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		21,050	18,655	12,506	9,214	8,237	17,399
執行率(%)		98.6%	90.8%	85.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			6,990	7,085	7,037	6,543	
総事業決算額(A+B)		21,050	25,645	19,591	16,251	14,780	
予算書P(令和5年度)	P205 2(2)イ	執行実績報告書P(令和4年度)			P147 2(2)イ		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	フィルムコミッション運営業務委託	9,214	委託料	フィルムコミッション運営業務委託	8,237	需用費	マンホールカード増刷	220
						委託料	フィルムコミッション運営業務等	17,179

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	フィルムコミッション撮影支援件数(作品数)				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		75	R7	目標	35	35	40	40
				実績	65	32	39	39
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	45	45	75	75	75
	実績	35	45	74				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	撮影支援を行った件数を、情報発信の件数と捉え、指標を設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	墨田区観光協会HPのページビュー数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1000000	R7	目標	700000	750000	750000	800000
				実績	658381	731842	681842	646367
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	800000	850000	850000	900000	900000	1000000
実績	446210	513736	470000					
指標の選定理由及び目標値の理由								
情報発信の結果、墨田区に興味を持った人数を成果指標と考え、指標を墨田区観光協会のHPのアクセス数に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	観光需要が回復する中で、プロモーションの機会も増えていることから紙媒体での情報発信も強化する。

課題・問題点
フィルムコミッション事業においては、ロケに協力いただける民間事業者の募集や、公共施設での撮影への協力体制の構築、また、映像制作者に対して区内ロケ地の売り込みが課題となっている。 また、観光需要が回復する中でリアル(紙・対面)・デジタル両面での情報発信を考える必要がある。

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	MICE推進事業費				2	
目的	観光施策を通じてビジネス交流の活性化を促し、強い地域経済に基づく観光振興を目指す。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	区内を訪れる事業者					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	東京メトロポリタンテレビジョン(株)	
事業内容	墨田区の産業集積を活用した産業観光プロモーションにより、ビジネストリップやテクニカルビジット等を誘致し、企業間交流を促進させるため、すみだの魅力を感じ、すみだとつながりを持ちたいと思ってもらえるようなプロモーションなどMICE誘致について検討を行う。					
経過	開始年度	令和2年度		終了予定		
	<p>■プロモーション映像作成 令和3年度:映像作成 令和4年度:台東区・江東区・東武タワースカイツリー社と一緒に活動しているEASTTOKYO協議会における、名古屋中部地方修学旅行説明会及び青森東北地方修学旅行説明会での放映 令和5年度:成田国際空港での墨田区観光協会によるインバウンド向けプロモーションブースでの放映 両国駅前の日本相撲協会デジタルサイネージでの放映</p> <p>■MICE誘致検討 令和5年 4月・5月 事業者意見交換実施</p>					
議会質問 の状況	令和4年11月 決算特別委員会 MICEプロモーション動画の活用について					
その他 特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		-	-	-	2,860	0	0
A.決算額(令和5年度は見込み)					2,860	0	0
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	2,860	0	0
執行率(%)		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		0	0	0	2,860	0	
予算書P(令和5年度)	-		執行実績報告書P(令和4年度)			-	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	映像制作委託	2,860						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	意見交換会開催数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			2	2	2	2
	実績			2				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	MICE誘致に当たっては地域と連携が不可欠であり、意見交換等の会議を開催しより良いものとするほか、地域の参加意欲を向上させる必要がある。そのため、会議開催数を指標とする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	MICE開催数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						1
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
MICE誘致の結果として、開催に繋げることが目標であるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	製作した動画を各所で活用し、プロモーションを展開していく。また、両国地域のMICE誘致の可能性について検討を進める。

課題・問題点
産業観光プロモーションの一環としての動画の作成は終了したため、さらなる活用方法を検討する必要がある。また、両国地域を中心としたMICE誘致についてスキーム・体制・課題を調査し、行政としての運営方法・関わり方を確立する必要がある。

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	外国人観光客受入整備事業				3	
目的	外国人観光客が安心して快適に区内を回遊し、すみだの魅力に触れられるように、情報発信及びプロモーションを行う。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	外国人観光客、在住外国人					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人 一般社団法人墨田区観光協会 等	
事業内容	1 外国人向け情報発信及びプロモーション (1) 在住外国人ネットワーク化推進事業の実施 (2) Oishii Sumidaウェブサイト運営委託 2 海外へのプロモーション ・JNTOをとおした海外発送、海外配布事業					
経過	開始年度	平成26年度		終了予定		
	平成26年度 ・区内観光案内所へのフリーWi-Fi設置 ・多言語観光案内冊子の制作委託 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出開始 平成27年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出 平成28年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出 ・Wi-Fiルーター無料貸出PR事業 平成29年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出終了 ・多言語観光案内冊子の制作委託 平成30年度 ・多言語観光案内冊子の制作委託 令和元年度 ・多言語観光案内冊子の制作委託 ・外国人向けツアー実施運営委託 令和2年度 ・新型コロナウイルス感染症の影響により誘客イベント(ゆかたdeガイドツアー)及び冊子制作・掲載委託事業を中止 令和3年度 ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業見送り 令和4年度 ・在住外国人ネットワーク化推進事業開始 ・Oishii Sumida事業、産業振興課から移管					
議会質問の状況	平成27年 第4回定例会 多言語冊子の作成等外国人観光客受入環境整備について 平成28年 第4回定例会 多言語冊子の作成状況について 令和5年2月 予算特別委員会 外国人アンバサダー雇用条件、旅行サイトへの投稿について					
その他特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		3,000	6,430	5,850	300	5,439	5,436
A.決算額(令和5年度は見込み)		3,000	6,429	300	300	5,299	5,436
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		3,000	6,429	300	300	5,299	5,436
執行率(%)		100.0%	100.0%	5.1%	100.0%	97.4%	100.0%
B.人コスト			2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		3,000	9,050	2,947	2,939	7,753	
予算書P(令和5年度)	P205 2(4)	執行実績報告書P(令和4年度)			P147 2(4)		

予算・決算の内訳 (単位:千円)								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			委託料	在住外国人ネットワーク化推進事業 等	4,999	委託料	在住外国人ネットワーク化推進事業 等	5,136
			負担金補助及び交付金	JNTO賛助会費	300	負担金補助及び交付金	JNTO賛助会費	300

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	多言語冊子の種類				単位	種
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R2	目標	5	6	7	8
				実績	5	6	7	8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
	実績	6	6	6				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	外国人観光客向けのPRや観光情報の周知の手段として多言語観光案内冊子を制作しているため、冊子の種類を指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	多言語冊子の配布部数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		25000	R2	目標	13000	16000	18000	20000
			実績	13000	16000	18000	20000	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		25000	25000	25000	25000	25000	25000	
実績	1,625	1,050	555					
指標の選定理由及び目標値の理由								
すみだの魅力を情報発信することで、訪れる外国人観光客の案内性を高め、回遊性を向上させることが目的であるため、冊子の配布部数を指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	国の水際対策の緩和に伴い、外国人観光客が増えている中、区内回遊の促進を図っていく。

課題・問題点
増加する外国人観光客を受け入れられるよう、区民の観光に対する理解度(観光受容度)を高める必要がある。

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	向島花街の新生事業				4	
目的	江戸文化の趣を残す「向島花街」は、江戸時代から残る伝統文化であり、本区の重要な観光資源である。向島花街を中心とした地域産業の活性化により、向島地域の持続的な発展と活性化を図るとともに、向島花街の伝統文化を守り、後世に継承していく。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	向嶋墨堤組合、墨田区観光協会					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人	
事業内容	向嶋墨堤組合又は墨田区観光協会が行う、持続的な向島花街の活性化を図る事業への支援 ・向島花街紹介冊子の多言語化 ・向島花街紹介動画の作成					
経過	開始年度	令和2年度		終了予定		
	令和2年12月 向島花街の観光振興における連携に関する基本協定を締結 令和2年度 協定に基づく協議・意見交換 令和3年度 向島花街紹介冊子の作成・向島花街らしさを演出する提灯の設置・向嶋墨堤組合が行った稽古代補助に対する支援 令和4年度 画狂人北斎記者会見の実施・料亭体験会の実施・提灯ライトアップの実施に対する支援					
議会質問 の状況	【令和5年予算特別委員会】 墨堤組合への補助金について 【令和5年予算特別委員会】 向島花街文化継承事業について					
その他 特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)				5,000	11,500	10,000	5,000
A.決算額(令和5年度は見込み)				4,850	6,787	8,375	5,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	4,850	6,787	8,375	5,000
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	97.0%	59.0%	83.8%	100.0%
B.人コスト				3,529	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		0	0	8,379	9,426	10,829	
予算書P(令和5年度)	P206 3(4)	執行実績報告書P(令和4年度)			P147 3(4)		

施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる	部内優先順位			
事業名	広域連携事業				5	
目的	他自治体と連携して効果的にプロモーション活動を実施することで、観光客の誘客及び回遊性の向上を図る。				主管課・係(担当)	
					観光課観光担当	
					03-5608-6500	
対象者	観光客					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤0.4人・一般社団法人墨田区観光協会等	
事業内容	1 EAST TOKYO協議会 台東区、江東区、東京スカイツリー社と連携し、東京下町エリアとして、プロモーション活動を実施。 2 その他自治体との連携 (1) 忠臣蔵サミット参加 (2) 青森県弘前市との連携事業(北斎祭り) 3 江戸に時めく2023inすみだ (1) 勝海舟生誕200周年記念パネル展 (2) 勝海舟ゆかりの地を巡る舟運事業 (3) 池波正太郎生誕100周年記念講演会の実施					
経過	開始年度	平成30年度		終了予定		
	平成29年10月 平成30年 令和元年 令和3年3月 令和4年3月	東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定を締結 連携事業を開始 他自治体との連携事業に係る予算を本事業に移管 東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定の協定期間を 令和4年3月31日まで期間延長 東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定終了				
議会質問 の状況						
その他 特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		6,000	15,031	4,215	1,361	1,184	6,606
A.決算額(令和5年度は見込み)		5,908	14,350	847	1,106	984	6,606
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,908	14,350	847	1,106	984	6,606
執行率(%)		98.5%	95.5%	20.1%	81.3%	83.1%	100.0%
B.人コスト		3,937	3,495	3,529	3,518	3,272	
総事業決算額(A+B)		9,845	17,845	4,376	4,624	4,256	
予算書P(令和5年度)	P205 2(2)ア	執行実績報告書P(令和4年度)					

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
旅費	出張旅費	63	旅費	出張旅費	219	旅費	出張旅費	399
委託料	お花見マップ作成費用	143	負担金及び交付金	PR費用分担金	765	委託料	イベント	5,252
負担金及び交付金	PR費用分担金	900				負担金及び交付金	PR費用分担金	955

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	連携事業の取組数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R7	目標			3	3
				実績			6	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
	実績	4	3	4				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	複数事業を実施し、さらなる観光誘客を図る必要があるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	区内を訪れる観光客数 (観光関連施設入込客数及びイベント入客数)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10,000,000	R7	目標	9,100,000	9,300,000	9,500,000	9,650,000
				実績	9,175,663	8,142,160	8,211,870	7,468,410
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9,800,000	9,800,000	9,900,000	9,900,000	9,900,000	10,000,000
実績	2,458,695	2,015,820	3,748,164					
指標の選定理由及び目標値の理由								
プロモーション活動を通して、訪れたいまちをつくるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	観光需要が回復していることから、広域連携のメリットを活かし、連携自治体の観光資源をフックに相互の誘客・回遊に取組んでいく。

課題・問題点
自治体毎に観光の状況や方向性が異なる部分がある中で連携事業を実施するには、相互にとってメリットとなるような事業内容とする必要がある。